

平成30年 9月10日(月)

創立記念行事 ～ 109年目の創立記念日 ～

本日9月10日は、本校の創立109年記念日のため、第一体育館において創立記念行事が行われました。

まず、創立記念式が行われ、校長式辞にて内藤善文校長は、本校の歩みを紹介し、明治42年から現在までの歴史と伝統をひもときました。また、地元はもとより、国内外の各界で有為な人材として素晴らしい活躍をしていることや開校当時の様子にふれながら、「今日のような学校になるには、在職した教職員の方々、同窓生、保護者や地域の皆様、その他関係当局など、多くの方々のご尽力と奉仕の精神の賜であります。我々一同はそのことに深く感謝し、忘れてはならないと思います。」と呼びかけました。また、校訓や指導目標を確認しながら、「本校がより一層充実、飛躍、発展を成し遂げ、日本を代表する本物の名門工業高校になるために、偉大な先輩方に続き、絶え間ない努力を継続することをお願いいたします。」と話されました。そして、吹奏楽部の演奏のもと、校歌を斉唱しました。

また、創立記念講演として、法益財団法人 三浦教育財団 前事務局長の寺村尚起様にお越しいただき、「松工OBの成功者」という演題で講演を行っていただきました。松山工業高校出身であり、三浦工業の創始者である三浦保さんを取り上げながら、話されました。三浦保さんの人物像や略歴にふれ、「今日も明日も己に克とう」や「考える楽しさを味わおう」、「目標は生きがいのためにある」等、たくさんの三浦さんの残した言葉を紹介されました。そのような話の中で、全てにわたって積極的に取り組んでこられたことに気づきます。また、三浦さんが失敗したことは英語を話せないことであり、英語を話すことができたならもっと活躍することができたのでは…と話されました。そこで、「これからは即戦力が求められます。英語とコンピュータは頑張ってください。」と呼びかけました。そして、生徒を代表して、生徒会長の仙波優平君（電気科3年）が「本日はお忙しい中、講演をしていただきありがとうございます。講演ではポジティブに考えることが大切であることがわかりました。また、私たちの学校生活や普段の生活の自信となるお話ばかりでした。お話を教訓にこれからの学校生活に生かしていきたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。」と謝辞を述べました。

最後に、吹奏楽部による記念演奏が行われました。「木星」「ジブリメドレー」など、6曲を演奏し、鑑賞しました。



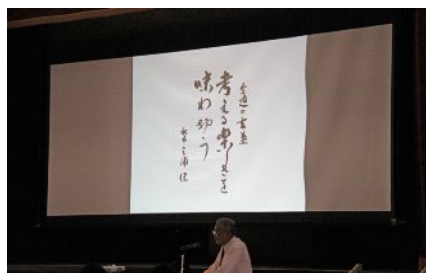
創立記念行事での校長式辞



講演をされる寺村尚起様



生徒代表謝辞 仙波優平君



講演の様子



創立記念演奏